

身近に潜む火災危険から命を守ろう！

多摩防火協会からのお願い！ 今すぐチェック 

電気火災の主な発火源

(川崎市内における過去10年間)

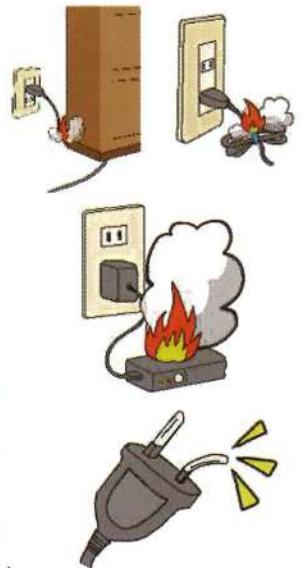
1位 電気コード (87件) 2位 電池 (83件) 3位 プラグ (80件)

電気コード、電池、プラグが発火源となった火災だけで、過去10年間に川崎市内で2億円以上の損害が計上されています。

電気火災を防ぐポイント



- 電気コードは、束ねたり重いものの下敷きになっている状態で使用しない。
- 電気コードが傷んでいるときは使用を控える。
- リチウムイオンバッテリーは、落下などにより衝撃を与えたり、ポケットに入れたまま座るなどの折り曲がるような力を加えない。
- 電池を使用する製品は、取扱説明書どおりに使用し、安価だからといって非純正品のバッテリーを使用しない。
- 膨らみなどの異常があるときは使用をやめる。
- プラグは、定期的に抜いて付着したほこりなどを掃除する。
- プラグは、しっかりと差し込んだ状態で使用する。
- プラグに変形があるときは使用を控える。



市HPも御覧ください

死者のうち約33%がたばこ火災で！

過去10年の火災による死者数
(平成26年～令和5年)



たばこ火災を防ぐポイント



たばこ火災は、ポイ捨て、寝たばこ、山盛りの灰皿に捨てた消火が不十分のままゴミ箱に捨てたなど、喫煙者のマナー違反に起因して発生することが多く、ほとんどの火災は日頃の心掛けで防ぐことができます。



- 専用の灰皿を使用
- 灰皿に水を張り、確実に消火
- 灰皿に吸がらをためない
- 寝たばこは絶対しない！
- ポイ捨ては厳禁！
- 屋外での喫煙は喫煙所で

何が燃えて火災に？



- 1位 ごみ類
- 2位 ふとん、座ふとん、寝具
- 3位 紙屑、わら屑

やっしまいがちなことは？



揚げ物をしていて突然の来客に対応して火を消し忘れ、鍋の油に火がついた。(男性60歳代)



調理中にうたたねをしていて鍋をこがし、家族が気づいて火を消した。(女性80歳代)



コンロを使用中、コンロに背を向けていたら衣服に着火し、やけどを負った。(男性50歳代)



奥のコンロの、鍋の料理の味見をしようとして袖に火がついた。(女性70歳代)



コンロのそばに布巾を置き、焦げ臭いにおいで気づいて、火を消した。(女性50歳代)



コンロの近くをキッチンペーパーで掃除して火がついたが、水をかけて消した。(男性40歳代)

調理中はその場を離れない

事故防止のポイント

コンロの使用中は絶対にその場を離れないこと。離れる時は必ず火を消してください。



過熱した天ぷら油に火がついた実験映像より

見えない炎に注意

事故防止のポイント

強火でガスを使用している時は、鍋の上部でも繊維などに火がつくことがあります。炎が見えなくても注意しましょう。防災加工されたアームカバーやエプロン等を使用すれば、燃え広がるのを防ぐことができます。



見えない炎で着火した実験映像より

コンロの周りには整理整頓

事故防止のポイント

コンロの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。ふきん、調理用油、プラスチック製の容器などをコンロのまわりに置くと、着火して火災が発生し、重大な事故につながるおそれがあります。



周辺に可燃物が置かれた危険な例

よく放火される場所は？



過去10年間に放火された場所をみると、敷地内、建物外周部、ごみ集積場など、私たちの生活に身近な場所が多発していることが分かります。

1位	敷地内	(144件)
2位	建物外周部	(54件)
〃	公園	(54件)
4位	廊下	(45件)
5位	河川敷等	(39件)
6位	道路	(37件)
7位	車両外周部	(32件)
〃	ごみ集積場	(32件)
9位	トイレ	(31件)
10位	広間・ホール	(17件)

1 2
3

4

※建物内の居室を除く。

放火されない・させない環境



狙われるのは...

- ・人目に付きにくい時間帯
- ・人気のない暗がり
- ・放置された燃えやすいもの



1 家の周りに燃えやすい物を置かない

2 家の周りを外灯などで明るくする

3 車庫、物置は必ず鍵をかける

4 ゴミは決められた収集日の朝に出す

5 地域の人みんなで、声かけと見守りを